

障がい福祉瓦版

グループホームってどんなところ？

■相談・問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

もうすぐ夏本番ですね。熱中症に気をつけて、水分補給を欠かさないようにしましょう。

さて、今月は障がい者のグループホームについて紹介します。グループホームという名前は聞いたことがあるかと思いますが、実際にどのような生活を送っているのか、市内にある施設を取材させていただきました。

グループホームとは

障がいをお持ちの方が、2～10人で一緒に生活をします。身の回りのことや、炊事、洗濯などの家事をすることが苦手な場合は、支援員と一緒にいき、やり方を教えてくれます。

障害者総合支援法の中に位置づけられている、障がい福祉サービスのひとつです。「共同生活援助」とも言います。

どんな人が利用しているの？

- ・一人暮らしが不安
- ・誰かと一緒に生活をしたい
- ・親元を離れて自立したい
- ・家事の経験が少ない

上記以外にも様々な理由で、グループホームで生活をしている方がいらっしゃいます。



グループホームの1日の生活 (例)

起床・朝の準備	6:30～7:30
朝食	7:30～7:50
出勤準備	7:50～8:20
(福祉的就労の場や一般企業などに仕事へ行きます)	
仕事	9:00～16:00
帰宅・掃除・買物	16:20～17:00
洗濯・入浴	17:00～18:30
夕食	18:00～19:00
入浴・自由時間	19:00～20:30
消灯	21:30



※基本的に自分でできることは自分で行います。支援が必要な所は支援員と一緒にいき、やり方などを教えてくれるので、安心して生活を送ることができます。



利用している方にインタビュー

「グループホームの生活はいかがですか？」

- ・支援員と一緒に調理をすることが楽しい。
- ・グループホームのメンバーと一緒にイベント(クリスマス会、調理実習、外出など)に参加することが楽しい。
- ・最初は不安だったが、支援員に相談し、教えてもらうことで不安がなくなり、楽しく過ごすことができるようになった。
- ・みんなが優しく接してくれるので嬉しい。
- ・友達ができてよかった。
- ・休日は自由に過ごせるので、友達と一緒に出かけることが楽しい。



インタビューから、できることは自分でいき、苦手なことは支援員に協力してもらい、時には利用者同士で助け合いながら生活している様子を伺うことができました。グループホームは福祉サービスの1つですが、利用している方にとっては“自宅”です。住みやすい環境にするために、利用者支援員がお互いに協力していく必要があると感じました。

今回紹介したグループホームのほか、障がい重い方が1日過ごせるグループホームもあります。またグループホーム以外にも、障がい福祉サービスにはたくさんの種類があります。どう利用したらよいか分からない、何が自分に合うか分からないなど、困りごとがありましたら、お気軽に市障がい児者相談支援センターまでご相談ください。